第1回総務文教常任委員会 概要報告

年 月 日	令和6年2月20日	会場	第1委員会室	案件	所管事項の調査
出席委員	東川孝義、高野美枝子、遠藤隆男、川村幸栄、中畠孝幸				
委員外議員	なし				
欠席委員	なし				
審査及び報告事項					
1 名寄市立大学の運営について					
学生の就職活動、令和6年度一般選抜入試志願状況について報告があり質疑を行った。					
Q 志願者数の減少対策について。					
A 学生の確保が難しくなっている。教員が高校訪問等実施しているので、学生の意見など情報を敏感に捉えながら学内で議論をしていく。					
2 総合政策部所管について					
名寄市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改定について、名寄市公共施設再配置計画の進捗状況、地域連携事業補助金の創設、名寄市地域公共交通網形成計画の計画期間延長、企業版ふるさと納税、移住・定住・交流推進支援事業、「北海道ふるさと応援H（英知）プログラム」に関わる事業採択について報告があり質疑を行った。					
その後令和6年第4回定例会予定補正予算の主な概要について説明があった。					
3 総務部所管事項について					
「不当要求行為等対応マニュアル」の策定、令和5年度名寄市防災訓練、電子地域通貨「ヨロカ」推進策の状況について報告があり質疑を行った。					
その後令和6年第1回定例会提案予定補正予算について説明があった。					
Q 「ヨロカ」が市民にまだ理解されていないが、対策について。					
A 取り残される方がいないよう、内部で協議しながら進めていきたい。					
4 教育行政の推進について					
名寄市立学校管理規則の一部改正、スポーツ・文化団体と部活動顧問との意見交換会、令和5年度名寄市全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果、名寄ピヤシリ大学の体制変更などについて報告があり質疑を行った。					
その後令和6年第1回定例会補正予算の主な概要について説明があった。					
総務文教常任委員会 副委員長 高野美枝子					

第2回総務文教常任委員会 概要報告

年 月 日	令和6年6月3日	会 場	第1委員会室	案 件	所管事項の調査
出席委員	東川孝義、高野美枝子、遠藤隆男、川村幸栄、中畠孝幸				
委員外議員	なし				
欠席委員	なし				

審査及び報告事項

1 名寄市立大学の運営について

- ・名寄市立大学の現況について
教職員数、学生の在籍状況、入学・志願状況、令和6年度入学生の出身高校所在自治体、令和5年度卒業生の就職・進学、国家試験の状況等
- ・コミュニティケア教育研究センター
- ・令和5年度活動実績報告及び令和6年度活動計画
報告を受け質疑を行った。

Q 少子化や旭川大学の影響による今後の学生確保対策についてどう考えているか。

A 高校訪問、進学相談会、専門学校進学希望者など魅力発信に努める。

2 教育行政の推進について

- ・所管事項の概要について 学校教育課、特命課題担当参事、指導主事、生涯学習課、名寄市公民館、智恵文公民館、風連生涯学習担当参事、風連公民館、児童センター、青少年センター、教育相談センター、北国博物館、図書館、天文台、学校給食センター
- ・令和6年第2回定例会提案予定補正予算の主な概要
報告を受け質疑を行った。

3 総合政策部所管事項について

- ・令和6年度総合政策部主要事業説明 総合政策課、地域課題担当、秘書広報課、スポーツ・合宿推進課、風連地区スポーツ施設担当、交流推進課
- ・名寄市自治基本条例の見直し検討
- ・地域連携事業補助金
- ・電子地域通貨行政ポイント事業「てく TECH 活動事業」の状況
- ・令和6年第2回定例会提案予定補正予算
報告を受け質疑を行った。

4 総務部所管事業について

- ・主要施策及び報告事項について 総務課（行革・職員・研修担当）、デジタル推進担当、防災担当、財政課、市史編さん室
- ・令和6年第2回定例会提案予定補正予算の主な概要
報告を受け質疑を行った。

第3回総務文教常任委員会 概要報告

年 月 日	令和6年6月21日	会場	第1委員会室	案件	所管事項の調査
出席委員	東川孝義、高野美枝子、遠藤隆男、川村幸栄、中畠孝幸				
委員外議員	なし				
欠席委員	なし				
審査及び報告事項					
<p>1 教育行政の推進について</p> <p>(1) AIドリルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名寄市学校教育一人一台端末の積極的活用に向けて（アフターギガスクールを見据えて） ・名寄の子どもたちを誰一人取り残さないために <p>(2) 新時代における先端技術を効果的に活用した学びの在り方（新時代に求められる教育）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Society5.0時代の到来 ・子どもたちの多様化 ・学校・教師の役割 ・教職員の働き方改革 ・名寄市学校教育の目指す姿 <p>(3) AIドリルの導入について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベネッセ「ミライシード」認知特性に合わせたAIドリル「まるぐランド」 ・発達特性に合わせた学びについて <p>*説明を受け、実際に子ども達が使用する「まるぐランド」を実習。非常に分かりやすく、楽しく学習が進むということが理解できた。</p> <p>Q Wi-Fi環境の整っていない家庭への対応。</p> <p>A Wi-Fiルーターの貸し出しを希望する方については国の交付金で措置されるので、随時募集している。保護者には今週文章を発送する。ホームページでも周知している。</p> <p>Q デジタル系のものが不得手な児童生徒の対応はどうしているのか。</p> <p>A 特別支援のお子さんや、発達の特性で苦手なお子さんについては、紙と端末のベストミックスを進める。</p> <p>Q 現場の先生はどの様に考えているのか。</p> <p>A 昨年からデモアカウントを学校で使っている。教育改善プロジェクト、研究所で取り上げアンケートなどを踏まえニーズや課題や成果についてまとめながら進めていく。</p>					
総務文教常任委員会 副委員長 高野美枝子					

第4回総務文教常任委員会 概要報告

年 月 日	令和6年8月19日	会場	第1委員会室	案件	所管事項の調査
出席委員	東川孝義、高野美枝子、遠藤隆男、川村幸栄、中畠孝幸				
委員外議員	なし				
欠席委員	なし				
審査及び報告事項					
1 名寄市立大学の運営について					
(1) 令和7年度学生募集・確保について					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和6年度オープンキャンパスの実施状況について 1回目7月6日参加者44名保護者46名、2回目8月11日参加者286名保護者257名で開催3回目は9月28日を予定している。 ・ 高校訪問・進学相談会の状況について 訪問済み211校（道内128校、道外83校） 訪問予定道内25校 ・ 名寄市立大学トークイベント2024 in HTB本社スタジオの開催について 令和6年10月5日札幌創成スタジオにて進学イベントを実施予定。 					
(2) 学生の就職活動の状況について					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和7年3月卒業見込者の就職内定状況（7月末日現在） 6月15日春の就職合同説明会、7月18日「名寄のしごと・ミニジョブカフェ」、10月26日開催予定秋の就職合同説明会。 					
(3) 大学院の検討状況について					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学院許可申請検討支援事業として委託しているシンクタンクと協議を進めた中で数回アドバイスを受けた。今後大学院設置検討会を立ち上げる。 					
(4) その他					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 名寄市立大学トークイベント in HTB本社スタジオにかかわる委託料を補正予算。 					
Q. 少子化や旭川大学の影響による今後の学生確保対策についてどう考えているか。					
A. 高校訪問、進学相談会、専門学校進学希望者相談など魅力発信に努める。					
2 教育行政の推進について					
(1) 学校における暑さ対策について					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 熱中症対策は暑さ指数を用いて31度以上で原則運動中止、33度に達することが予測され環境省から熱中症警戒情報が発表された場合臨時休業。 					
(2) 学校等における工事の概要について					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校空調設備工事は7月23日名寄小学校、名寄西小学校、名寄東小学校、中名寄小学校の入札が決定。7月25日から令和7年2月14日を工事期間とする。 ・ 風連中学校学校開放改修工事は8月1日から令和7年1月31日。名寄中学校改築工事の入札は8月20日予定。 					

- ・智恵文小中学校グラウンド整備事業は11月29日工事完了予定。
 - ・給食センター排水配管改修工事は令和7年2月28日までの工事期間とする。
- (3) 令和6年度全国学力・学習状況調査結果の概要について
- ・令和6年4月18日、教育施策の成果と課題を検証し改善を図るため小学校189名、中学校157名に国語・算数(数学)の調査を行った。小学校では全国とほぼ同等、中学校では全国よりやや低い傾向が確認された。
- (4) その他
- ・名寄高校のパンフレットを3,000部作成。高校説明会で配布している。
 - ・学校運営協議会は昨年度7つの学校区、今年度は南小学校と名寄中学校、名寄小学校と名寄東中学校が分かれて9つの学校運営協議会で実施している。
 - ・故・木原秀雄氏のマンガ「市井の研究者 木原秀雄」の完成。
- Q. コピー用紙の裏紙利用の個人情報の流失についてどのような対応をしたのか。
- A. 北海道教育委員会からの指導もあり学校に通知。個人情報流出防止の徹底を図る。

3 総合政策部所管事項について

(1) 総合政策課

- ・名寄市公共施設等再配置計画の取り組み状況について
「まちづくり名寄」でのアンケート結果を参考に検討を進める。
- ・名寄市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂状況について
北海道からの改訂骨子案が9月になるのでその内容を見てから進める。

(2) 地域課題担当

- ・名寄市自治基本条例の見直し検討状況について
5年ごとに検討、見直しをすることになっており市内・市民検討委員会、アンケートを実施し検討委員会から提出された意見書の内容を確認して判断する。
 - ・名寄市地域公共交通網形成計画の改定について
運輸局からのアドバイスを受けながらアンケート、専門部会、協議会の会議を開催し素案を確認後常任委員会報告、パブコメを経て、計画決定する。
 - ・AI活用型オンデマンドバスの一となよる運行状況について
8月6日現在登録者数1,234人、年代にかかわらずバランスよく登録されている。予約方法はライン、スマートフォン7割。電話3割。満足が98.5%。市民説明会9回開催。知っている67%、名前を聞いた事がある21%、知らない12%。
- Q. メインコア、サブコア等カタカナでは分かりづらい。具体的に名寄市に当てはめるとどのあたりになるのか。ウォークブルシティは車がなくても可能ということなのか。
- A. メインコアは3条6丁目を中心とする町なか、サブコアは大学やスポーツセンターエリアなどを指す。車がなくても集うことを踏まえて公共交通活性化協議会で検討する。

(3) 秘書広報課

- ・7月豪雨に係る鶴岡市へのふるさと納税代理寄附受付による災害支援について
令和6年7月の豪雨災害により鶴岡市で被害が出ていることから復興支援を行う。
- ・ふるさと納税寄付金募集状況について
令和6年7月までに寄付件数6,899件、金額7,100万3,000円と令和5年度を大きく上回っている。

(4) スポーツ・合宿推進課

- ・「てく TECH 活動事業」の状況

3月末5,737人の利用登録、4月末には7,155名登録。事業再開後の8月6日現在、市民の24%にあたる6,043名が改めて登録し、平均目標達成者は7月末平均で1,753名、40代の目標達成者数が増加傾向にある。6,500歩コースを設置した60代・70代では目標達成者数の割合が大きく増えている。

(5) 交流推進課

- ・にほんごひろば開催

8月3日参加者13名。次回以降月2回開催し参考のためニーズ調査をした。

- ・藤島交流友の会少年少女交流

8月2日～5日鶴岡市訪問。名寄ピヤシリサッカー少年団20名がサッカー交流。

- ・名寄市・杉並区交流自治体協定締結35周年記念市民訪問ツアーについて

10月26日～28日募集人数20名、見学先（科学館・アニメミュージアムほか）

(6) 令和6年第3回定例会提案予定補正予算

- ・地域課題担当からは市管理駅維持管理事業、地域公共交通対策事業費。秘書広報課からはふるさと納税寄附金、ふるさと応援事業費。スポーツ・合宿推進課からは各種大会事業費、スポーツ施設管理運営一般行政経費について説明があった。

4 総務部所管事業について

(1) デジタル推進担当

- ・財産の取得

クライアントサーバーの更新のため事業費8,023万7,300円を令和7年3月31日納入期限として9月2日に議会提案をする。

(2) 防災担当

- ・令和6年度名寄市防災訓練

7月9日に風連中央小学校で210名が参加し降雨、地下浸水、段ボールベッド組立て、要配慮者体験、装備品展示など訓練し「自ら考え判断することができる力」「想像力」を身につけることができ、目的を達成した。

- ・避難行動要支援者の名簿情報提供の同意及び個別避難計画の作成について

同意の確認を得られていない方に同意を促し拡大に努める。

- ・令和6年7月23日から24日の大雨について

名寄観測所で81.5ミリ、西風連観測所で82.5ミリを観測し市職員、消防署により巡視を行い真狩川に土のうを設置。市内4か所で排水機場・ポンプが稼働。道路の法面崩れ、洗掘、河岸崩れがあり、圃場への浸水被害が確認された。

(3) 財政課

- ・令和6年度普通交付税交付額

87億2,330万円で7月23日決定

第5回総務文教常任委員会 概要報告

年 月 日	令和6年8月29日	会場	第1委員会室	案件	所管事項の調査
出席委員	東川孝義、高野美枝子、遠藤隆男、川村幸栄、中畠孝幸				
委員外議員	なし				
欠席委員	なし				
審査及び報告事項					
教育部					
生理用品の学校トイレへの配置について					
1 生理用品の学校トイレ配置試行事業					
実施期間 令和6年5月20日（月）～令和6年7月26日（金）					
配置場所・方法 小学校高学年及び中学校全学年女子トイレ					
アンケート 各学校及び小学校5年生から中学校3年生までの女子児童生徒					
2 児童生徒用アンケート結果					
急に必要になった児童生徒の24%が利用した。					
3 学校用アンケート結果					
【成果】助かった。保健室に貰いに行くより使用しやすい。					
【課題】使用状況の把握。設置による衛生的の配慮。広がって何個も捨てられたり補充し てすぐなくなったり若干いたずらと思われることがあった。					
4 今後の取り組みについて					
74%の児童生徒が2学期からも配置を望んでいることから学校トイレへ生理用品の配置を 行う。					
Q. 保護者からの声を聞く予定は					
A. アンケートは考えていないが、9月3日に PTA 会長さん方との意見交換があるので情報 提供しご意見をお聞きしたい。					
その他					
・外国語指導助手 ALT の交代について					
5年間勤務していただいたアンディ先生が帰国し8月1日付けでカナダ出身26歳、日本語 が堪能なりー・アレックスさんが来日。9月から本格的に授業を行う。					
総務文教常任委員会 副委員長 高野美枝子					

第 6 回総務文教常任委員会 概要報告

年 月 日	令和 6 年 1 1 月 1 3 日	会 場	第 1 委員会室	案 件	所管事項の調査
出席委員	東川孝義、高野美枝子、遠藤隆男、川村幸栄、中畠孝幸				
委員外議員	なし				
欠席委員	なし				
審査及び報告事項					
1 総務部所管事業について					
(1) 防災担当					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和 6 年度名寄市防災訓練「防災セミナー」 11 月 9 日グランドホテル藤花で 94 名が参加し防災講話「大雨による洪水とその備えについて」、「地震に対する普段からの備えについて」図上訓練として「マイ・タイムラインの作成」、防災体験として、心肺蘇生法、止血法、負傷者搬送法、防災グッズ展示などを実施。 ・ 「自らの命は自ら守る」自助の意識の醸成につながるものと考えた。 					
【質疑】					
問 マイ・タイムラインの普及を積極的に行ってほしい					
答 市民の皆様がより興味を引くような事業ができるよう努力したい。					
(2) 財政課					
令和 7 年度予算編成の市長訓令、事務連絡について報告。					
(3) 令和 6 年第 4 回定例会にかかる総務部関係提出案件					
指定管理者の指定、条例改正案件について報告。					
2 名寄市立大学の運営について					
(1) 令和 7 年度入学者選抜試験の実施スケジュール					
学校推薦型選抜、社会人選抜、3 年次編入大学試験は 11 月 21 日、一般選抜前期は 2 月 25 日、後期は 3 月 12 日。					
(2) 令和 7 年度大学入学共通テストの実施					
令和 7 年 1 月 18 日。					
(3) 令和 7 年度学生募集・確保					
令和 6 年第 3 回目のオープンキャンパスが 9 月 28 日に開催され高校生 113 名、保護者 97 名が参加（道内 204 名、道外 6 名）。					
(4) 令和 6 年卒業予定者の就職等の状況					
10 月 26 日社会福祉学科、社会保育学科向けの秋の就職説明会に道内 72、道外 5 団体、130 人の学生が参加。					
(5) 令和 6 年第 4 回定例会提出予定補正予算					
情報掲載委託料、学内ネットワークの機器更新、超低温フリーザー等。					

3 教育行政の推進について

(1) 部活動改革

- ・ NAYORO スタイル部活動改革推進ワークショップアンケートに基づいて報告。
- ・ 名寄市部活動推進協議会を設置し 11 月 11 日に第 1 回協議会開催、委員の構成、今後の予定について報告。

(2) 名寄市内小中学校の校舎等耐震化状況

- ・ 現在名寄中学校、名寄東中学校の 2 校が耐震性に問題があるが、名寄中学校の改築、名寄東中学校が名寄産業高校跡に移転すると耐震化率 100%になる。
- ・ 屋内運動場などのつり天井などの落下防止状況で説明があり未対策校 4 校については、今年度名寄小学校、次年度以降東小学校、西小学校、中名寄小学校で対策を行う。

(3) 名寄市育英奨学条例の一部改正

奨学金及び修学資金に係る利子補給または育英奨学金の貸付けの運用については、独立行政法人日本学生支援機構第 13 条の規定により対応しているが、現行の条例と同条例施行規則の内容の見直しを行うため、本条例の一部を改正する。

(4) なよろ市立天文台条例の一部改正

休館日を見直すことで業務改善を図り、職員の適切な勤務体制と安定的・効率的な運営を図るため、年末年始以外は 3 連休の場合、3 連休後の翌日に加え翌々日も休館日とすべく同条例を令和 7 年 4 月 1 日より改正する。

(5) 学校給食費の改定

- ・ 令和 6 年 4 月引上げ分は令和 7 年 4 月から小学生区分 28 円、中学生区分 30 円は保護者負担。
- ・ 令和 7 年 4 月引上げ分小学生区分 40 円、中学生区分 42 円については保護者への負担軽減のため関連する補正予算を令和 6 年第 4 回定例会に提出予定。

【質疑】

問 学校給食費の無償化について国に対しての働きかけについて伺う

答 国の計画の中で調査が来ている、新たな制度には注視し遅滞なく対応したい。

(6) 令和 6 年度第 4 回定例会補正予算

教育振興事業費、小学校維持管理事業、スクールバス運行事業費等

4 総合政策部所管事項について

(1) 総合政策課

- ・ 王子マテリア名寄工場跡地利活用
まちづくり会社が令和 6 年 5 月王子マテリア倉庫と貸借契約。6 年 10 月運用開始。
- ・ 名寄産業高等学校跡地利活用
光凌キャンパスは名寄東中学校として活用(令和 6 年度実施設計中)。名農キャンパス活用検討準備会議で検討協議。

【質疑】

問 光凌キャンパスの管理はどこで行うのか

答 教育委員会のほうで交渉中。詳細についてはまだ把握しきれない部分もある。

問 名農キャンパスの利活用検討準備会議の進捗状況と陸上自衛隊の訓練拠点を市として要望し続けるのかということを確認したい。

答 活用準備会議は令和5年2月から年2回から3回程度会議があり、12月にも予定されている。訓練施設の誘致については増強促進期成会事務局が名寄市となっているが、名寄市が要望しているという立てつけではない。

・名寄市物流拠点化構想

高規格道路の事業進捗率 69%、用地進捗率 99%（令和6年3月）。国の制度、関係省庁と実現に向け協議を進めている。

・名寄市公共施設等再配置計画

総合計画ローリングで対象施設の進捗状況確認。複合施設は市内3.6を中心に検討。

(2) 地域課題担当

・まちづくり懇談会

負担軽減のため11月25日智恵文・名寄、11月27日風連の3地区で開催。

・公共交通

令和4年からの状況。令和6年9月開催、名寄地域公共交通活性化協議会専門部会からの提言について報告を受ける。

・宗谷本線

国土交通省から3月、JR北海道に3度目の監督命令発出。9月には「事業の抜本的な改善方策の実現に向けた実行計画」を発表。利用促進、コスト削減に取り組む。

・名寄市自治基本条例の見直し検討結果

11名の検討委員会で全5回開催、市民アンケート、広報なよろ連載企画掲載、庁内検討会議全2回の結果、検討経過及び意見書の内容を考慮し、条例改正の必要性はない。

(3) 大学特命課題担当

・名寄市立大学の在り方検討

18歳人口の推移は2005年137万人、2023年110万人、2040年82万人に減少し4校に1校が廃校になる。2023年の4年制大学進学率は57.7%と大衆化している中で大学の在り方が大きく変化してきている。市民にとって価値があり受験生から選ばれるための在り方について年内に検討の場を設置したい。

(4) スポーツ・合宿推進課

・スポーツ団体組織統合

4団体から構成する新法人設立準備委員会を設置、令和7年度に新法人を設立する。

・名寄市子どもの運動習慣および保護者の意識調査

大阪体育大学と名寄市、名寄市立大学の協力で市内の小中学校児童、保護者を対象にオンラインによるアンケートを実施し、今後調査結果を地域のスポーツ施策に役立てていきたい。

・JOC ジュニアオリンピックカップ2025 全日本ジュニアスキー選手権大会兼全国小・中学校選抜スキー大会の開催決定

10月初旬全日本スキー連盟から決定の連絡があった。

(5) 交流推進課

・にほんごひろば

9月から10月に4回開催。パークゴルフやちょっと難しい日本語などで交流した。

・ネパール訪問

11月9日から18日調査団派遣

・都市交流事業

名寄市・杉並区交流自治体協定締結 35 周年記念市民ツアーは 10 月 25 日から 27 日まで 14 名の参加。

・台湾派遣事業

高校生派遣事業が 11 月 3 日から 8 日 5 名、中学生は令和 7 年 1 月 9 日から 12 日 12 名が参加予定。

(6) 令和 6 年第 4 回定例会提案予定補正予算

企画振興費政策推進事業費、総務費寄附金、ふるさと応援事業費等

総務文教常任委員会 副委員長 高野美枝子

第7回総務文教常任委員会 概要報告

年 月 日	令和6年11月14日	会場	名寄市立大学	案件	所管事項の調査
出席委員	東川孝義、高野美枝子、遠藤隆男、川村幸栄、中畠孝幸				
委員外議員	なし				
欠席委員	なし				
審査及び報告事項					
1 認証評価について					
令和7年度受審予定期間別認証評価（第Ⅳ期）の進捗状況について					
* 令和7年3月までに結果の確定と公表を行う。					
【課題改善への取組】					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 内部質保証体制の見直し、履修単位数の上限を設ける CAP 制度等の課題改善の取組。 ・ 自己点検・評価の取組。 ・ 将来構想（ビジョン2026）課題改善に取り組む。 ・ 学生による授業評価アンケートの改善。 					
【全学的課題】					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学院設置に関する検討 ・ IR 推進室（入試改革・教育改革に関する政策提言を行う）の機能強化 ・ コミュニティケア教育研究センターの機能強化 ・ 大学の運営形態に関する検討 					
問 前回指摘されていた CAP 制がまだ改善されなかった。経過と今後について。					
答 IR 推進室機能強化。教職員の FD・SD（組織的な研修・研究・能力開発）を項目に入れた。					
2 大学院設置検討について					
【経過】					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年秋の素案はリスクが高く休止とした。その後次への準備がなされなかった。 ・ 大学院設置の必要性の認識など十分な議論を尽くすことができず混沌とした状況だった。 ・ 大学の将来展望を見据えた対策の認識が学内で共有できなかった。 					
【設置検討】					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学院の設置検討会の規程（案）の策定を教授会に依頼。 ・ 当面の大学院設置検討体制の基本情報の提供、必要性、方向性の概要説明。 ・ 専門分野別の段階的整備の検討、整理具体的なスケジュールの合意と確定。 					
問 昨年の総務文教常任委員会では設置時期まで決まっていたが、またスタートから出直しなのか。					
答 学内的に大変混乱している。素案を生かしながら次年度にわたって進めたい。					

3 大学の運営形態のあり方について

【当面の大学院設置検討】

- ・ 18 歳人口の減少社会を見据えた公立大学の在り方
2040 年の 18 歳人口は現在の 7 割になり、国立大学、公立大学の定員を満たさなくなる。
- ・ 今後の高等教育政策の方向性と具体的方策（中教審中間まとめ 2024. 8）
教育の質の高度化、規模の適正化、アクセスの確保

【将来構想検討（運営形態の検討、ビジョン策定、あり方検討）】

* 受験生に向けて

- ・ 選ばれる大学（魅力の見える化）
- ・ 情報発信（学校訪問、連携、OC、HP など名寄方式）
- ・ 入学者選抜などの検討（総合型選抜）

* 学生・教職員に向けて

- ・ 教育、研究環境などの整備（内部質保証システム）
- ・ 教職連携（組織体制の見直し）
- ・ 地域との社会連携と国際・国内交流などの充実
- ・ 教員からも選ばれる大学
- ・ 地域の魅力化

問 法人化についての学長の考えは。

答 法人化された大学が 101 校ある中で 10 校が法人化していない。国立大学の学長からは問題があるという意見がたくさん出ていることも承知している。残っている 10 校は小さな学校で、運営するにはどうしたらいいのか悩ましいが私なりに勉強したい。

第 8 回総務文教常任委員会 概要報告

年 月 日	令和 6 年 1 2 月 9 日	会場	第一委員会室	案件	所管事項の調査
出席委員	東川孝義、高野美枝子、遠藤隆男、川村幸栄、中畠孝幸				
委員外議員	なし				
欠席委員	なし				
審査及び報告事項					
<p>【総務部】</p> <p>名寄市公共施設等総合管理計画の改定について</p> <p>はじめに</p> <p>計画の背景と目的</p> <p>今回改定に至った経過</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総務省から本計画策定を要請してきた時期から一定の期間が経過した。 ・ 国のインフラ長寿命化計画が令和 2 年度に見直された。 ・ 策定に関する指針の改定が示された。 <p>* 以上の理由から 11 月 28 日名寄市公共施設等総合管理計画推進本部会議で改定。</p> <p>位置づけと計画期間</p> <ul style="list-style-type: none"> * 「インフラ長寿命化基本計画」及び「名寄市総合計画」を基本とし、公共施設などの基本的な指針を示す。 * 平成 28 年度から令和 12 年度まで（20 年間）。 <p>第 1 章 現状と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本市が保有する公共建築物は令和 6 年 3 月末 672 施設、総延床面積 32 万 7,066 平米。平成 26 年度末の計画策定当初は 767 件、32 万 4,238 平米で 0.87%増になっている。 ・ 学校教育系施設が公共施設全体の 29%、公営住宅が 19.9%で 2 つだけで 50%近い。 ・ 一般的に建築物大規模改修の目安となる建築後 30 年以上経過したものが全体の 61%。 ・ 総務省指針の追加分では有形固定資産減価償却率が逡増し、老朽化が進んでいる。 <p>第 2 章 将来負担コストの課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総務省提供ソフトを活用し、今後 40 年間の将来負担コストは 3,282.8 億円、年平均 82.1 億円でこの 5 年間で更新にかけた投資的経費の年平均と比較して 6 倍になる。 <p>第 3 章 適正な管理等に関する基本的な考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保有する公共施設の総延床面積 13%縮減の数値目標は今回の改定では見直さない。 ・ 「施設を更新（建替）する場合は、市民の利便性や市民ニーズを十分に考慮し集約化・複合化を行った施設が施設総量を超えないよう努めます。」と記載内容を変更した。 ・ 関連する計画として名寄市公共施設個別施設計画を加えた。 ・ 脱炭素への取組、ユニバーサルデザインの推進について追加。 ・ フォローアップでは PDCA サイクルについての事項を加えた。 					
<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 5px;"> 総務文教常任委員会 副委員長 高野美枝子 </div>					